

キリスト教教理入門

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪
7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

第八部 キリストのみわざ論

- 26章 キリストのみわざ論への導入
- 27章 贖罪の中心的主題

第27章 贖罪の中心的主題

1. 背景としての諸要素
2. 新約聖書の教え
3. 贖いの基本的意味
4. 刑罰代償説への異論
5. 代償的贖いの意味合い

1. 背景としての諸要素

1. 神の性質
2. 律法の位置
3. 人間の状態
4. キリスト
5. 旧約聖書のいけにえの体系

2. 新約聖書の教え

1. 福音書
2. パウロ書簡

3. 贖いの基本的意味

1. 犠牲
2. なだめ
3. 身代わり
4. 和解

4. 刑罰代償説への異論

1. 贖いの必要の概念への異論
2. 身代わりの概念への異論
3. なだめの概念への異論
4. キリストの義の転嫁の概念への異論

5 . 代償的贖罪の意味合い

- 代償的贖いの理論 - 複雑さをもつが、豊かで意味深い真理
- 1. 全的墮落の人間観 - 尊い御子の死
- 2. 神の性質 - 義(罪の犠牲)と愛(ご自身犠牲)
- 3. 無限の価値 - あらゆる時代のすべての人の罪をおおう
- 4. キリストの死(完全・無限) - 救いの基盤は不変
- 5. 自由の恵み、しかし高価な恵み - 私たち習うべき

詩

- 彼は、彼が負うべきではなかった負債を負ってくださった。
- 私は、私が払い得ない負債を負っていた。私は、私の罪をだれかに洗い流してもらうことを必要としていた。
- そして、今私はまったく新しい歌を、ひねもす驚くべき恵みを賛美している。
- それは、私が決して払うことができなかった負債をイエスが払ってくださったからである。